

2. 平成17年度研究発表等

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
Japanese experiences with MBR in Waste Water Treatment	村上 孝雄	MBR-Symposium Varsseveld in International Perspective	stowa	—	V1~9	2005. 4
保全履歴データを活用した汚泥乾燥機のリスク評価	(朱牟田善治) (尾崎 厚司) <中田 逸夫>	第13回春季信頼性シンポジウム発表報文集	日本信頼性学会	—	99~102	2005. 5
Modelling full-scale oxidation ditch plants treating municipal wastewater: Japanese experience	糸川 浩紀 村上 孝雄 (周藤 孝雄) (宮田 純) (大橋 一聡)	1st IWA-ASPIRE	IWA (International Water Association)	—	CD版	2005. 7
Impacts of the Introduction of Garbage Grinders on Sewage Systems.	(吉田綾子) (山縣弘樹) (高橋昌弘) 森田弘昭	1st IWA-ASPIRE	IWA (International Water Association)	—		2005. 7
日本下水道事業団におけるバイオマス燃料化事業に関する取組みについて	石田 貴 川本 和昭 猪木 博雅	第42回下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	31~33	2005. 7
固定化微生物によるエストロゲン処理	(恩田健介) (宮 晶子) (多田啓太郎) <橋本 敏一> 村上 孝雄	第42回下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	67~69	2005. 7
オゾン処理によるエストロゲン除去の基礎的検討の透過と濃度の影響	<高橋 梢> <橋本 敏一> 村上 孝雄	第42回下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	76~78	2005. 7

注) <著者名> : 元技術開発部員

(著者名) : JS以外

太 字 : 発表者

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
下水処理場における耐硫酸モルタルの試験施工について	須賀 雄一 稲毛 克俊 (寺村 悟) (中西 泰之) (平野 義信) (大西 宏二)	第42回 下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	88～90	2005. 7
エポキシ樹脂ライニング材料中への硫酸浸入に及ぼす濃度の影響と浸入機構	(久保内昌敏) 稲毛 克俊 (宇野 祐一)	第42回 下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	94～96	2005. 7
下水道腐食環境下に2年間暴露した耐硫酸コンクリートの性状	(黒澤 功) (五十嵐秀明) (佐田国康彦) 稲毛 克俊 須賀 雄一	第42回 下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	100～102	2005. 7
下水道腐食環境下に3年間暴露した耐硫酸性補修モルタルの性状	(大西 宏二) (澤邊 則彦) (平野 義信) (佐田国康彦) 稲毛 克俊 須賀 雄一	第42回 下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	103～105	2005. 7
様々な流入負荷変動に対する活性汚泥モデルの応答	糸川 浩紀 村上 孝雄	第42回 下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	112～114	2005. 7
実施データを用いた活性汚泥モデルのキャリブレーション方法の比較評価	(小原 卓巳) 糸川 浩紀 (後藤 雅子) (和田 真澄) (杉井 隆造)	第42回 下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	121～123	2005. 7
水質シミュレーションの計算刻み幅の決定支援方法	(大石 亮) (後藤 浩之) (豊岡 和宏) (出口 達也) (木幡 信和) 糸川 浩紀 村上 孝雄	第42回 下水道研究発表会講演集	(社)日本下水道協会	—	124～126	2005. 7

注) <著者名> : 元技術開発部員
(著者名) : JS以外
太 字 : 発表者

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
下水処理場の維持管理データを利用した水質シミュレーション	(出口 達也) (木幡 信和) (佐久間博司) 糸川 浩紀 村上 孝雄 (後藤 浩之) (豊岡 和宏) (大石 亮)	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	—	133～135	2005. 7
オキシデーションディッチ法実施における活性汚泥モデルの適用性の検証	(周藤 孝雄) (宮田 純) (大橋 一聡) 糸川 浩紀 村上 孝雄	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	—	136～138	2005. 7
りん除去安定化のためのORPによる酢酸添加制御— 活性汚泥モデルによる検討—	(古屋 勇治) (森岡 崇行) 糸川 浩紀 村上 孝雄	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	—	142～144	2005. 7
ディスポーザー導入の環境影響評価	森田 弘昭 岡本 順 (山縣 弘樹)	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	—	160～162	2005. 7
雨天時活性汚泥法運転時における最終沈殿池の挙動に関する一考察	<中田 逸夫> 稲毛 克俊	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	—	384～386	2005. 7
膜分離活性汚泥法による下水処理過程の有機物質の挙動	太田 秀司 村上 孝雄	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	—	756～758	2005. 7
下水高度処理に適用可能なORPセンサーの開発	(加藤 敏朗) (高橋 直哉) (三木 理) (瀬戸口 浩) (山里 昌春) 糸川 浩紀 村上 孝雄	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	—	798～800	2005. 7

注) <著者名> : 元技術開発部員
(著者名) : JS以外
太 字 : 発表者

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
りん除去安定化のためのORPによる酢酸添加制御ーA2O法による実験的検証ー	(三木 理) (加藤 敏朗) (高橋 直哉) 糸川 浩紀 村上 孝雄	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	ー	801~803	2005.7
ORPによる窒素・りん高度処理安定化と省エネ効果の検証	(高橋 直哉) (三木 理) (加藤 敏朗) 糸川 浩紀 村上 孝雄	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	ー	804~806	2005.7
シリカ系薬剤の利用等による処理性能及び微生物群集構造への影響	(今岡 睦明) (高岡 一栄) (小倉 智) 〈橋本敏一〉 村上 孝雄	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	ー	885~887	2005.7
オゾンによる汚泥減量化法の長期運転実績	(柴田 雅秀) 宮岡 武志 (田中 俊明)	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	ー	894~896	2005.7
下水中のノロウイルスの検出に関する基礎的検討	〈橋本 敏一〉 村上 孝雄	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	ー	924~926	2005.7
りん回収を前提とした消化処理における超音波可溶化処理の検討 その2	(三浦 崇) 島田 正夫 猪木 博雅	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	ー	1005~ 1007	2005.7
汚泥可溶化技術を用いた嫌気性消化の効率化とリン回収技術の検討	(玉木 由佳) 島田 正夫 猪木 博雅	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	ー	1008~ 1010	2005.7
余剰汚泥減量化技術の現状と課題	島田 正夫 宮岡 武志	第42回 下水道研究発 表会講演集	(社)日本下水道 協会	ー	1068~ 1070	2005.7

注) <著者名> : 元技術開発部員
(著者名) : JS以外
太 字 : 発表者

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
下水道処理場の改築更新事業の現状とリスク評価の必要性について	須賀 雄一 稲毛 克俊 (朱牟田善治) (尾崎 厚司) <中田 逸夫>	平成17年度土木学会全国大会第60回年次学術講演会講演集	土木学会	—	CD版	2005. 9
ディスポーザーに投入される厨芥に関する調査	(吉田綾子) (山縣弘樹) (吉田敏章) 森田 弘昭	第5回環境技術学会研究発表会予稿集			57~58	2005. 9
膜分離活性汚泥法の利用用途の拡大	太田 秀司 村上 孝雄	業務研究発表会講演集	日本下水道事業団	—	99~108	2005. 10
ASMを用いた水質シミュレーションの計算刻み幅に関する検討	(大石 亮) 糸川 浩紀 村上 孝雄	第17回環境システム計測制御(EICA)研究発表会	EICA環境システム計測制御学会	—	—	2005. 10
ディスポーザーの使用実態および投入厨芥に関する調査	(吉田綾子) (山縣弘樹) 森田 弘昭	第16回廃棄物学会研究発表会講演集				2005. 10
硫酸腐食環境下にある下水処理場の耐硫酸モルタルによる補修工法について	須賀 雄一 稲毛 克俊	第13回衛生工学シンポジウム講演集	北海道大学衛生工学会	—	35~38	2005. 11
下水道における膜分離活性汚泥法の現状と展望	村上 孝雄	ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2005	日本膜協会	—	—	2005. 11

注) < 著者名 > : 元技術開発部員
(著者名) : JS以外
太 字 : 発表者